

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	渡辺 勉
	全体計画						経費区分		-		内線	3416
事務事業名	4172 間伐対策事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	05012200 森林の多面的機能の維持保全と共生											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費										
	事業	040000 間伐対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
森林の持つ多面的な機能を持続的に発揮させるため、除間伐を適正に行い、健全な森林を造成する。また、森林の施業の欠かせない、現況調査、歩道整備の行為に交付金を交付し、森林所有者を支援する。						除間伐を適正に行い、健全な森林を造成する。また、森林の施業に欠かせない、現況調査、歩道整備の行為に交付金を交付し、森林所有者を支援することにより、水源の涵養、山地災害の防止が図れる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
間伐対策事業補助金 50.77ha 森林整備地域活動支援交付金（施業集約化）30ha	間伐対策事業補助金 70ha 森林整備地域活動支援交付金（施業集約化）50ha
平成29年度 実績	平成30年度 実績
間伐対策事業補助金 37ha 森林整備地域活動支援交付金（森林経営計画作成促進）12ha	間伐対策事業補助金 70ha 森林整備地域活動支援交付金（森林経営計画作成促進）15ha
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
間伐対策事業補助金 70ha	間伐対策事業補助金 70ha

指標名	間伐整備の実施面積				
算式	累計実施面積				単位 ha
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標	1,013	1,063	1,113	1,163
	実績	993	1,030	1,057	
指標選定の理由	計画的に間伐を実施し、森林の持つ公益的機能を維持する。				
最終年度目標の根拠	67ha、累計913ha（H26）の間伐だが、年間平均50haとし、最終目標1200haとした。				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		1,644	2,559
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	551	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,093	2,559
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.1
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	715.0	715.0
	嘱託職員	287.5	287.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,002.5	1,002.5
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		2,646.5	3,561.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	55	消耗品（事務用品）55
13節 委託費	551	意向調査準備業務委託551
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	1,038	間伐対策事業補助金1,038
その他	0	

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	59	消耗品59
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	2,500	間伐対策事業補助金2,500
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	適切な間伐は、健全な森林を造成し、多面的機能を発揮させるために必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	間伐が進み、健全な森林の造成を図ることができている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	国・県補助金に市がかさ上げ補助して事業を推進している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
平成30年度は26.49haの事業が実施できた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
森林の多面的機能をより一層発揮させるため、事業を推進する。		災害防止や水資源涵養のため、健全な森林の育成は不可欠である。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	